

令和8年度 行田地区市政懇談会(8/5開催) 事前要望等回答一覧

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
1	八幡町光風会	公民館への支援金（公民館運営委員会交付金）の増額および倉庫の増設をお願いしたい。	中央公民館	各公民館におきましては、地域内の各種団体、機関、公民館認定クラブ等の代表者で組織された「公民館運営委員会」が設置されており、当該委員会において、地域住民の皆様の意見を反映した事業を企画・決定し、実施しているところでございます。 現在、市では、当該委員会が行う事業に対して「公民館運営委員会交付金」を交付しておりますが、ご提言の交付金の増額につきましては、今後の物価高騰等の社会情勢を踏まえながら調査研究してまいりたいと存じます。 また、倉庫の増設につきましては、公民館所管の備品等は各公民館内の倉庫で保管しております。現時点では、倉庫内で充足しているものと認識していることから、市全体として公民館の倉庫を増設する計画はございません。個々の公民館についての具体的なご要望がございましたら、中央公民館（５５６－２６４９）までご相談くださいますようお願いいたします。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
2	宮本自治会	【人口減少にあたって】 産婦人科（出産）の病院がないため、これも人口減少の一因となっているのではないのでしょうか。市としての対応を伺いたい。	こども家庭センター	ご意見のとおり、行田市内には分娩に対応できる医療機関はないことから、近隣市の分娩対応医療機関を市ホームページ等で周知しております。また、これらの医療機関が実施している産後ケア事業や送迎支援等の情報を把握し、必要に応じて情報提供を行うことで、安心して出産を迎えていただけるよう努めております。 また、妊娠届の提出時に助産師の資格を持つ赤ちゃんコンシェルジュが妊娠・出産に関する不安や悩みの相談を受け付けております。さらに、必要に応じて継続的な面談や家庭訪問を実施し、妊娠期から出産、子育て期まで切れ目のない支援を提供しているところです。 このように、本市には分娩に対応できる医療機関はございませんが、出産を予定されている方が安心して出産を迎える体制を整えるとともに、子育て支援を積極的に推し進めてまいりたいと存じます。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
3	行田市食生活改善推進員協議会	【食生活改善推進員協議会の活動について】 北河原地区では、特産品としてカボチャの生産に取り組む構想があり、食生活改善推進員協議会では、カボチャを活用したレシピを考案し、市農政課と連携している。 防災関係では、令和6年度防災フェアで呉汁、令和7年度防災訓練でけんちん汁の炊き出しに協力したほか、令和8年度のねんりんピックでは汁物の調理協力を依頼されている。また、市内公立保育園では、毎年3園で食育活動を実施している。 今後も、地域振興や食育、防災などの分野において、市と連携・協力しながら活動を続けてまいりたい。	健康課	食生活改善推進員協議会の活動におかれましては、特産品であるカボチャの活用や、災害時の炊き出し、子どもたちへの食育活動など、多岐にわたる取組は地域住民の暮らしの向上につながるものと認識しております。 市といたしましては、今後も、食生活改善推進員協議会の皆様と連携を図りながら、地域の特性を生かした取組や食育の充実に努めてまいりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。